



つなぐちゃんベクトル

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会社内誌 臨時増刊 165号 2010.10.5 発行 社会政策研究所

=====

知的障害者最多 1048人が挑戦 スポーツ大会

共同通信社 2010年10月4日

大阪府で11月に開かれる知的障害者の国際スポーツ大会「スペシャルオリンピックス」国内大会の実行委員会は4日、大阪市で記者会見し、開催概要を発表した。参加者は過去最多の1048人となる。

「ナショナルゲーム」と呼ばれる国内大会は、日本では1995年に始まり、関西地区では初の開催。11月5～7日、開会式やデモンストレーション、水泳や陸上など12競技が大阪府内の10会場で行われ、2011年6月にギリシャで開催される夏季世界大会の代表選手選考も兼ねる。

選手の最高齢は、長野県からボウリングに出場する71歳の男性。大会の運営を支えるため約2500人のボランティアも参加する。

五輪女子マラソンのメダリストで、大会会長を務める有森裕子さんは「一般の人の知的障害者への認識はまだ低い。大会を通じて、理解が深まってほしい」と話した。(共同通信)

スペシャル五輪 有森さん「会場に来て」...来月大阪で

読売新聞 2010年10月5日

記者会見で大会への思いを話す有森さん(左端)(4日午後、大阪市北区で) = 近藤誠撮影



大阪府で11月5日～7日に開催される知的障害者のスポーツの祭典「第5回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・大阪」(読売新聞社など後援)について、主催する認定NPO法人「スペシャルオリンピックス日本」(東京)は4日、大阪市内のホテルで記者会見を開き、大会概要を正式に発表した。

11月5日午後4時から大阪城ホール(大阪府中央区)で開会式があり、府内10会場で水泳や陸上、バドミントンなど12競技を開催。参加選手は過去最多の1048人で、来年ギリシャで開かれる世界大会の国内予選を兼ねている。同法人理事長でバルセロナ五輪マラソン銀メダリストの有森裕子さんは「関西では初開催。多くの人に会場に足を運んでほしい」と話した。

スペシャルオリンピックス：詳細を発表

毎日新聞 2010年10月5日

知的障害者のスポーツ競技会「スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム」の大阪での開催(11月)を前に、大会会長で女子マラソンの五輪メダリスト、有森裕子さん(43)らが4日、大阪市内で記者会見し、大会の詳細を発表した。

大会は4年ごとに行われ、今回で5回目。11月5日、大阪城ホール(大阪府中央区)での開会式で始まり、6日と7日に、水泳や陸上、サッカーなど12競技を大阪府内の各会場で行う。全国から1048人が参加。来年6月にギリシャ・アテネで行われる世界大会の国内選考会を兼ねる。各競技の会場などは、大会ウェブサイト <http://www.son.or.jp/sonng2010/>に掲載。 以上